

令和 5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 2 回 就業支援部会	参加者数	会場 33 人	会場	いなっせ5階 501、502会議室
	日時	令和 5 年 9 月 21 日 (木) 13:30 ~ 15:30		ZOOM 20 人		
主 テ ー マ	<p>1, 就労支援事業所の取り組みについて</p> <p>2, 作業の切り出しについて</p>					
	<p>1, 就労支援事業所の取り組みについて</p> <p>① 就業継続支援B型事業所 アップ☆わーくの(従) R I Z Eの取組みについて 就労移行支援は2年間の利用期間しかないが、B型事業なら時間をかけても「就労したい」人の応援ができる事に気づき、従たる事業所として、アップ☆わーくの(従) R I Z Eを立ち上げた。 就職したい 「高い収入が欲しい」人を応援する取り組みを行っている。</p> <p>②就労継続支援A型事業所‘ひだまり中川‘の取組について ・個別支援計画の充実と共有化 利用者さんの何がしたいのかななどをよく確認してから共有化をする事になっている。本人とサビ管だけではなく職員が見守り、見る角度により見えるところが違ってくるので本人が出来ることはやってもらえるような支援を行っている。 得意・不得意な事について 環境的、精神的、身体的の3つの視点で原因分析を行い就労に向けて状況の見える化を行っている。</p> <p>2) 作業の切り出しについて 講師:長野障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー</p> <p>①障害者雇用における職務の考え方について ・長野障害者職業センターの役割 ・労働者の適性を見極めた配置 ・仕事を創り出す方法 積み上げモデルと特化モデルの紹介 ・新たな仕事を見つけ出す方法 ・仕事を見つけ出すポイント ・会社全体で障がい者雇用に取り組む視点</p>					
ま と め	就労支援事業の取り組みや作業の切り出し等実際に活用したい内容と感想があった。					
次 回	11月21日(火)13:30～ 合理的配慮について 伊那公民館 上伊那圏域差別解消協議会との合同 研修					